

多くの思い出とともに。

新麻生中学校、新麻生小学校、新武田小学校の開校に伴い8つの学校が地域とともに歩んだ長い歴史に幕を閉じます。2月26日には三和小学校、3月11日には小高小学校で閉校式が開催されました。

三和小学校



2月26日、閉校記念・創立130周年記念式典が三和小体育館で行われました。式では伊藤市長、山口校長、貝塚市議会議員、島田PTA会長が挨拶を述べました。その後、全校児童による元気いっぱいの群読や児童代表による「お別れの言葉」などが発表されました。また三和小学校の歴史を振り返る映像なども流され、出席した児童や保護者、地域の方など約150人の皆さんが地元の小学校に思いをはせました。最後に山口校長が伊藤市長に校旗を返納し、地域と共に歩んだ130年の歴史に幕を閉じました。

■■DATA■■

校長 山口俊夫 児童数 37人
創立 明治15年

小高小学校

3月11日、閉校記念式典が小高小学校体育館で行われました。午前中は学校主催の閉校式が行われ、「小高校舎」として創立された歴史を振り返るとともに学年ごとの学習発表を行いました。午後の市主催の閉校式では伊藤市長、横田校長、貝塚市議会議員が挨拶を述べたほか、児童代表が小高小学校での楽しい思い出を振り返るとともに「新しい学校でたくさんの思い出と友達をつくってください」とメッセージを送りました。最後に横田校長が伊藤市長に校旗を返納し、地域と共に歩んだ135年の歴史に幕を閉じました。

■■DATA■■

校長 横田秀一 児童数 152人
創立 明治10年



読書感想文・青少年の主張作文コンクール表彰式が行われました

2月25日に行方市文化会館において、平成23年度「読書感想文・青少年の主張作文コンクール」の表彰式と発表会がおこなわれました。

「読書感想文コンクール」は小・中学校合わせて2,589点の応募があり、その中から市長賞をはじめとして34名が、「青少年の主張作文コンクール」については、小・中学校合わせて159点の応募があり33名の方が受賞されました。表彰式の司会や受付・進行などは、市内の中学生の協力を受けスムーズに進みました。表彰式の後、優秀作品の受賞者による発表があり、どの作品もすばらしいものでした。



▽読書感想文発表者

[市長賞] 橋本倅志朗 (玉造小) 土子愛結 (麻生小)
出沼浩太郎 (麻生小) 越川明日美 (麻生中)

▽青年の主張発表者

[優秀賞] 古渡淑乃 (玉造小)
[優良賞] 島田航希 (三和小)
[優秀賞] 羽生愛理 (麻生中)
[優良賞] 宮本寿樹 (北浦中) 藤原圭那 (麻生中)
山中麻未 (玉造中)



静雲書道展

書道をつうじてうまれた絆

2月25日から29日、行方市立図書館において、第10回静雲書道展が開催されました。これは栗原静香さんが満80歳、書道歴50年を迎えられたことから節目の展覧会として開催されたものです。ご本人の作品のほか、栗原さんが指導された生徒の作品など約90点が展示されました。栗原さんは「今回の展覧会開催にあたって昔のお弟子さんたちが作品を提供してくれました。書道とおしてたくさんの人に出会うことができたことはとても嬉しいことです。子どもたちからはいつも元気もらっています」と話してくれました。



ナメガタシティ ジュニアハイスクール コンサート

迫力のある素晴らしい演奏でした

2月19日、行方市文化会館において、市内5つの中学校の吹奏楽部によるコンサートが開催されました。昨年と同様に、麻生高校吹奏楽部にゲスト出演いただきました。今回は、インフルエンザの影響により麻生中・麻生一中の合同演奏が急遽中止になるなど、十分な練習時間もとれず、不安な気持ちのまま本番を迎えた部員もいたようです。

しかし、そのような状況の中でも参加中学校全員による合同演奏では「マルマル・モリモリ」「上を向いて歩こう」など、迫力のある素晴らしい演奏を聴かせてくれました。

また、当日の運営には、行方市高校生会のご協力をいただきました。

家族の支えで初優勝

BIDANが伊藤市長に市町村サッカー大会の成績を報告

サッカーの「茨城新聞社杯第6回市町村協会チャンピオン大会」が、県内26チームが参加して開かれ、市内の社会人チームBIDAN（小林宏司代表）が、2回目の出場で初優勝を果たしました。

BIDANは、北浦中時代の全国大会出場者を中心に10数年前に結成されました。2月23日には、メンバーのうち3人が麻生庁舎に伊藤市長を訪ね、優勝報告を行いました。代表の小林さんは、「家族の理解があるから長くサッカーを続けることができました。連覇を目指して今後も練習に励みます」と意気込みを語りました。



小学生がワカサギの人工ふ化を体験

水産体験教室

2月21日、地域の小学生に地域漁業の取り組みや水産資源の保護について理解を深めてもらおうと、市漁業振興協議会が水産体験教室を開きました。

教室に参加したのは、羽生、玉造西、現原、玉造、玉川の各小学校の高学年112人。漁協関係者の指導のもと参加者全員がわかさぎを手に取り、人工ふ化を体験しました。

ふ化させた卵は、同協議会が用意した水槽で各学校ごとに飼育し、霞ヶ浦に放流することになっています。

ふれあいの森自然体験学習

小貫小閉校記念行事

森と緑を守る会（齋藤正会長）は、地元の子どもたちに遊びの場を提供しようと、茨城県森林湖沼環境税を活用して小貫地内の里山整備に取り組んでいます。

ふれあいの森と呼ばれる里山林は、樹齢約百年の落葉樹や桜、紅葉、銀杏が植えられ、四季折々の風景と山菜を楽しむことができます。

3月12日、閉校が決まった小貫小学校全校児童66人をふれあいの森に招き、自然体験学習が開催されました。

児童たちは、複数の班に分かれ、里山林を散策しながら森の役割について理解を深めました。



なめがたサツマイモお菓子コンテスト

最優秀賞が決定しました！

2月26日、なめがた食彩マーケット会議主催「なめがたサツマイモお菓子コンテスト」の実技審査会が開催され、入賞作品が決定しました。91作品の応募総数の中から最優勝に輝いたのは横田真以子さん（鉦田市）の「なめいもーる」。審査員の方が「このままお店で販売できる」と絶賛するレシピでした。横田さんは「サツマイモのレモン煮を乗せて味にアクセントをつけました。また、サツマイモクリームには皮も使い、いも感をアップさせました」と話してくれました。

後日、優秀作品10作品のレシピ集を作成する予定です。

第6回市内ミニバスケットボール新人大会

2月19日(日) 北浦運動場体育館

<女子の部>

【優勝】津澄MBSS 【準優勝】麻生ミニバス
【第3位】玉造山王ミニバス



津澄MBSS

第6回行方市ジュニアソフトテニス大会

2月26日(日) 北浦運動場テニスコート

高学年の部 【優勝】坂本・高橋組(玉造山王)



前列左から高橋さん・坂本さん

北浦杯卓球大会

2月18日(土) 北浦運動場体育館

～中学生の部：シングルス～

<男子> 【第3位】舟串郁哉(玉造中)

<女子> 【準優勝】橘川結衣(玉造中)

【第3位】加納祐希(北浦中)

【第3位】成島 愛(玉造中)

～中学生の部：団体戦～

<男子> 【準優勝】玉造中学校 【第3位】北浦中学校

<女子> 【優勝】玉造中学校 【第3位】北浦中学校



行方市長杯バドミントン大会

3月4日(日) 北浦中学校体育館

<混合ダブルスA> 【第3位】大河・大河組(北浦クラブ)

行方市民テニス大会

3月11日(日) 北浦運動場テニスコート

<男子ダブルス>

【優勝】倉田・遠峰組(小川TC・エクサーブ)

【準優勝】寺田・鈴木組(エクサーブ)

<女子ダブルス>

【優勝】荒井・大盛組(たまクラブ)

【準優勝】片岡・塙組(エクサーブ)

第26回行方市親善ゲートボール大会

3月13日(火) 北浦運動場第1グラウンド

【優勝】吉川A 【準優勝】豊和



吉川A

たくさんの善意ありがとうございます

行方市に義援金

○株式会社 鹿島アントラーズFC 500,000円

○日本鯉釣り連盟 17,832円

○公益財団法人モラロジー研究所 500,000円

(敬称略)

公益財団法人モラロジー研究所→



表紙 photo

麻生幼稚園児がつるし雛を見学

麻生藩家老屋敷記念館(旧畑住宅)に飾られた市民の方の手作りの「つるし雛」。県指定有形文化財に指定されている県内でも数少ない上層武家住宅の遺構に彩り鮮やかな雛飾りが展示され、2月10日から3月9日の期間中、市内外からたくさんの人が見学に訪れました。